

# 「高千穂郷」通信

NO.181

平成30年2月号

(発行：宮崎県西臼杵支庁)



## 【高千穂郷椎葉山地域】 世界農業遺産中学生サミット開催



1月20日(土)に、高千穂町で「世界農業遺産中学生サミット」が開催されました。熊本・大分・宮崎県の世界農業遺産の認定地域から代表の中学生が集まり、地域住民や行政関係者など、約230名が参加しました。



△上野中学校の生徒の発表

平成26年度に大分県でサミットが開始されて以来、初めての3県合同サミットとして開催されました。

認定地域間の連携や中学生の交流を目的に、全11校の中学生が、地域の農林業や伝統文化、修学旅行でのPR体験を通して感じたことなど、自らの地域に対する「誇り」や「思い」を伝えました。

高千穂高校生からは、次世代人材育成プログラム(GIAHSアカデミー)の取組について発表があり、生徒の皆さんにとって、自らの住む地域の将来について真剣に考える機会となりました。

## 役場でくるまthe談義が行われました！

市町村の若手職員と河野知事が意見交換を行う「役場でくるまThe談義」が1月10日(水)に、日之影町役場で開催されました。

当日出席した10名の役場の若手職員からは、福祉や農業、中山間地域の振興などについて施策の提案や、他業種との連携の在り方、市民の暮らしの向上のための意見が知事に伝えられました。

知事からは、それぞれの課題や対応策のアドバイスのほか、世界農業遺産やユネスコエコパーク、森林セラピーなどの取組を活用しながら、町の活力につなげて欲しいと職員を激励しました。



△知事と意見交換する若手職員





# 「食と農」の県民会議壁新聞コンクール表彰式



△表彰式に出席した受賞者の皆さん

「みやざきの食と農を考える県民会議西臼杵支部」では、小学生を対象に、「食」と「農」に対する関心を深めてもらう目的で、平成17年度から毎年「食と農」壁新聞コンクールを開催しています。

平成29年度のコンクール表彰式が、1月13日（土）に、JAゆめゆめプラザTACにて開催されました。



参加総数119名が作り上げた全33作品の中で金賞を受賞したのは、日之影小学校5・6年生「マイスター4」の皆さんの作品「みんな大好き！お米の世界」です。

生徒の皆さんは調べ学習だけでなく、農家の方へ聞き取りを行ったり、自ら栽培や調理を行ったりと、入念に記事作成に向けた下準備に取り組んでいました。様々な発想によって、模造紙の上に学んだ内容が綺麗にまとめられている作品が多く出展されました。

今後も、みやざきの食と農を考える県民会議では「食」と「農」への関心を深めるための活動を充実させます。



△金賞を受賞した日之影小の生徒



△高千穂町長賞の受賞生徒



△日之影町長賞の受賞生徒



△五ヶ瀬町長賞の受賞生徒



## 完熟きんかんの出荷が始まっています！



完熟きんかんの出荷が1月15日（月）に解禁され、順調に出荷が行われています。完熟きんかんは、花が咲いてから210日以上樹上で育てられたきんかんです。温度や水分など細かな管理がおいしさの秘密です。生産者が果実ひとつひとつを大切に育て、収穫しています。

1月中旬から3月頃までが旬で、じっくり成熟させた果実は、生で皮ごと食べることで、華やかな香りと甘さを感じることができます。是非食べてみてください！

また、きんかんPRイベント「きんかん食べNight☆In高千穂」が、2月16日（金）にカフェARIGATOで開催される予定です。完熟きんかんに興味がある方におすすめのイベントです。完熟きんかんをふんだんに使った料理と一緒に楽しみませんか？



△ハウス内で育てられたきんかん



△昨年の「きんかん食べNight」の様子





## 西臼杵3町で消防出初式が開催されました

1月5日（金）に、管内の3町で「消防出初式」が行われました。当日は明け方から冷え込んだことから、雪が降った地域もあり、式の内容や会場に一部変更がありました。

規律訓練では、分団ごとに通常点検が行われ、整列した団員が指示に対して迅速な動きで応えていました。また、県知事表彰のほか、消防協会表彰、町長表彰などが行われ、勤続年数が長い団員や活動を支える家族などの日々の功績が表彰されました。



△Gドームで行われた五ヶ瀬町の出初式

## 民生委員を対象にした研修会が行われました

12月13日（水）に、西臼杵ブロック民生委員児童委員研修会が開催されました。民生委員などの資質向上を目的に開催され、郡内から関係者の約100名が参加しました。

高千穂町民生委員の甲斐米子さんや五ヶ瀬町の主任児童委員の米田理恵さんから、全国大会の報告が行われたほか、「相談支援におけるコミュニケーションを学ぼう」「災害時の要援護者の把握と支援の方法」というテーマで講演がありました。

参加者からは、「実践的で分かりやすく、今後の委員活動に活かしたい」との感想が聞かれ、有意義な研修会となりました。



△五ヶ瀬町で開催された研修会の様子



## くりのせん定作業がはじまりました

12月15日（金）に、日之影町において日之影町果樹受託組合くりせん定班の平成29年度活動開始式が開催されました。

佐藤貢町長による“のこいれ式”が行われ、今年度の作業安全を祈願しました。受託組合くりせん定班は、委託された日之影町内のくり園地を巡回し、せん定作業を行っています。

くりのせん定作業は、枝が太く、高所の枝を切る必要がある上に、傾斜地での作業になることから、非常に労力がかかります。そのため、受託組合くりせん定班の活動は、日之影町のくり生産維持に大きく寄与しています。



△佐藤町長による「のこいれ式」



## 林産物の新春初市が行われました

恒例の新春初市が、1月6日（土）に宮崎県森林組合連合会の高千穂、五ヶ瀬の両林産流通センターで開催され、買い手となる県内外の製材業者や、出荷者である西臼杵管内の素材生産業者など約50名が参加しました。

高千穂センター事務所で行われた式典では、宮崎県森林組合連合会の甲斐会長の挨拶の後、買い手と出荷者の両方に対して感謝状が贈呈されました。原木の長さ、径級ごとに積み分けられたセンターの土壌において、景気の良い掛け声が飛び交う中、多くの原木が買われ、幸先の良いスタートを切ることができました。

同センターにおけるスギ原木平均価格は、大型製材工場の稼働等により需要が伸び、数年前よりも高い水準で推移しています。今年が西臼杵の森林・林業にとって、さらなる飛躍の年となるように関係者一同願っています。



△林業の今後の飛躍が期待されています





## 日本版DMOを核とした観光地域づくりのセミナー

1月11日（水）に、高千穂町役場にて「日本版DMOを核とした観光地域づくり」のセミナーが開催されました。

大正大学の清水愼一教授を講師にお招きし、地域の住民などが参加し、高千穂で更に魅力的な観光地づくりを進めていくために、どのような課題を解決すべきか、講話が行われました。

外国人が日本で観光する目的は「爆買い」から「旅行先でしか行うことができない体験型のツアー」にシフトしており、高千穂での生活そのものが観光資源になり得るとの話がありました。

また、高千穂町の抱えている課題が示され、参加者は解決に向けてどのように取り組めば良いかを考える機会となりました。



△観光地域づくりについて話す  
大正大学の清水教授



## 高千穂郷の手仕事を探すシリーズ【第3回】



今回の手仕事シリーズは、高千穂町岩戸で陶器を製作する「五峰窯」（ごほうがま）です。天安河原に向かう散道沿いの店で作品を販売するほか、陶芸や神楽面彩色などの体験も受入れ可能です。

高千穂町の岩戸に、人気の観光スポット「天岩戸神社」があります。先の天安河原に抜ける散道沿いに「五峰窯」があります。窯元の佐藤和彦さんは高千穂町の岩戸出身です。父親の姿がきっかけとなり、もっと陶芸を学びたいという意志を持って、岩戸中学校を卒業後、佐賀県の窯業を専門とする学校に進みました。福岡の小石原焼の窯元で修行を積み、高千穂に戻りました。

佐藤さんは使う人の声に耳を傾けながら、焼き物を製作しています。利き手に応じた手になじむカップ、軽くて収納しやすい食器など、普段使いに最適な機能性重視の陶器づくりを目指しています。使い手が「あの食器で食事をしたい！」と思ってもらえるよう、食卓を明るくする器づくりをテーマに、陶芸活動に取り組まれています。



肉めし（初栄）の器も五峰窯の器を使用♪

陶芸の魅力について、自分の表現したいものをすぐに形にできることだと話す佐藤さん。自分の器が何年も大切に使い続けられ、一部が欠けた時、器を買い換えるのではなく、修理の相談を受ける時が一番嬉しいそうです。少ない個数からでも用途に合わせて陶器を製作してもらえます！贈答で喜ばれる名前入りの陶器など可愛い商品もおすすです。

★陶芸体験も行っています！（要予約）  
初心者でも佐藤さんの優しいサポートを受けながら安心して陶芸を体験することができます！

【住所】宮崎県西臼杵郡高千穂町岩戸1082-21

【電話】0982-76-1200

【営業時間】10:00~17:00

◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課 TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

Facebookページ 「ウキウキ！好き好き！ニシウスキ！」更新中！

